

# 平成27年度 率先取組事例集



しあわせ  
信州

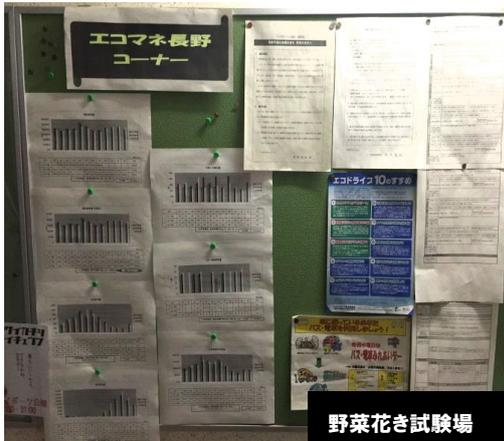
## 1 節電・省エネ運動「信州省エネ大作戦」への率先的な取組

節電・省エネルギーの構造的な定着を推進するため、県民総ぐるみの節電・省エネルギー運動「信州省エネ大作戦」に、県機関として率先的に取り組みました。

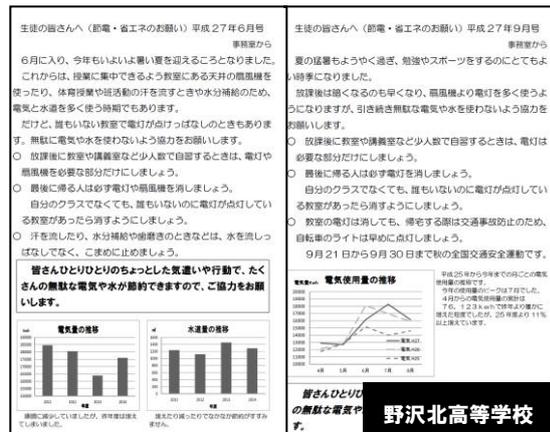
カット・シフト・チェンジの手法など各所属における意欲的な節電の取組により、夏季及び冬季の期間中の最大電力について、県機関の削減目標(H22年度比 夏季14%削減、冬季9%削減)を達成しました。〔節電実績:夏季21.4%削減(県庁)、20.5%削減(合同庁舎) 冬季:15.6%削減(県庁)、15.1%削減(合同庁舎)〕



## 2 エネルギー使用量のグラフ化・見える化・情報共有や呼びかけによる取組意識の向上



野菜花き試験場



野沢北高等学校

野菜花き試験場では、職員通路に「エコマネジメント長野コーナー」を設置し、光熱水費等の推移をグラフ化する等、職員への情報提供を行いました。

野沢北高等学校では、内部環境監査から、エネルギー使用量の推移のグラフ化を掲示している優良事例をヒントに、生徒向けの節電・省エネのチラシを作成しました。多くの生徒に読んでもらえるよう工夫を重ね、電気使用量は昨年に比べ減少傾向となっています。

また、各高校では、固有のイントラネットを利用した情報共有や、多くの所属で「エコマネジメント長野コーナー」を設けるなど、工夫した取組が行われています。

## 3 デマンド監視装置による電力需要の抑制

岡谷東高等学校では、デマンド監視装置により、最大電力を更新しそうな時期を職員に周知し、節電を呼びかけました。その結果、目標とする最大電力量を下回ることができ、電気料金面でも過去3年間で最も低い契約電力とすることができました。

諏訪実業高等学校では27年度よりデマンド監視装置を設置し、機器による監視と校内巡視による節電対策を行っています。

その他、上松技術専門校、長野ろう学校でも、デマンド監視装置によるピーク電力の抑制に努めています。



デマンド監視装置(岡谷東高等学校)

## 4 LED 照明の導入、節電の取組 等

松代高等学校では、昨年度に引き続き、2学年5教室の照明のLED化を行い、基準年度に比べ、大幅に電気使用量が削減されました。

松本技術専門学校では、校舎の中で最も使用している職員室の照明器具を、一般の蛍光灯からLED照明に交換しました。(27台)

その他にも、須坂警察署では、業者に依頼してLED式自動販売機を設置し、東北信運輸免許課では、職員用通路の照明を人感式とし、併せてLEDを導入しています。



LED 照明導入(松代高等学校)



伊那家畜保健衛生所



姫川砂防事務所

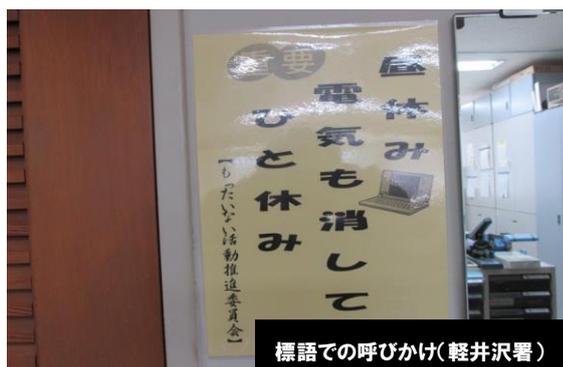


伊那家畜保健衛生所、姫川砂防事務所では、電灯スイッチのエリア別色分けや、点灯位置を表示することで、使用頻度の低い場所は消灯するなどの節電を行っています。

また、体育センターでは「できることから始めよう大作戦」と題し、①事務所の窓を葎簀で覆い室内温度の上昇を防ぎ、クーラーの節電に努める。②事務室照明の一括スイッチを個別スイッチに替える。③会議を電子(ペーパーレス)会議で行う。④使用頻度の低い場所の蛍光管を外す。など、省エネ・省資源対策に取り組んでいます。



問引き点灯(駒ヶ根署)



標語での呼びかけ(軽井沢署)

駒ヶ根署や軽井沢署、その他各警察署でも、間引き点灯や節電の呼びかけ、不要な照明の消灯など日常的な節電に取り組んでいます。

## 5 緑のカーテンによる日射負荷低減の取組



上田食肉衛生検査所



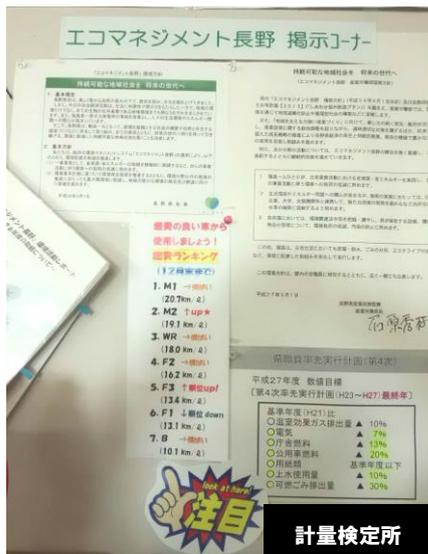
文化財・生涯学習課



上小地方事務所

上田食肉衛生検査所、文化財・生涯学習課、上小地方事務所、その他多くの所属で「緑のカーテン」を実施しています。夏季の直射日光を遮り、植物の力によって室内温度の上昇を抑える省エネ効果は、<sup>よしず</sup> 葎簀よりも効果が高いと言われています。また、職場環境の向上や来庁者へのアピールなど様々な効果が期待されます。

## 6 公用車燃料の削減



計量検定所

**車種・年度別の公用車燃費一覧**

上田保健福祉事務所の公用車(6台)について、車種・年度別の燃費を算出したので、参考にして下さい。

平成27年1月7日 作成

やはり、軽自動車(アルト(6228))「キャロル(7948)」の燃費は良いので、できるだけ利用しましょう。なお、アルトは4ナンバーの軽貨物車で、キャロルは5ナンバーの乗用車です。

小型貨物自動車(4ナンバー)の「ワッパリア(V)」は4台あります。うち、「防疫車(1374)」「福祉課(1929)」「食監車(1878)」の3台は同じ平成19年度に自動車登録されていますが、燃費が異なりますので、参考にして下さい。

(単位: km/リットル)

車種	登録年	燃費
防疫車	H26	13.5
防疫車	H25	13.3
防疫車	H24	13.2
防疫車	H23	15.4
訪問車・アルト	H26	16.6
訪問車・アルト	H25	17.7
訪問車・アルト	H24	18.0
訪問車・アルト	H23	17.1
福祉課	H26	13.5
福祉課	H25	13.3
福祉課	H24	12.7
福祉課	H23	12.8
キャロル	H26	17.5
キャロル	H25	17.8
キャロル	H24	17.7
キャロル	H23	17.4
広域車	H26	10.6
広域車	H25	11.0
広域車	H24	11.8
広域車	H23	11.7
食監車	H26	11.8
食監車	H25	11.8
食監車	H24	12.6
食監車	H23	12.7

**エコドライブで安全運転**

- 1 みんわりアクセルで「ゆっくりスタート」
- 2 車間距離をとり、早めのアクセルOFF
- 3 余裕をもって出発しましょう。
- 4 タイヤの空気圧を適正に保ちましょう。

上田保健福祉事務所

計量検定所では、検定・検査のために、毎日のように7台の公用車を利用し、稼働日1日当たりの走行距離は 200kmを超える日もあるため、安全運転とともに、エコドライブの徹底は日頃からあらゆる機会を捉えて職員に呼びかけています。

「エコマネジメント長野 掲示コーナー」を設け、環境方針等とともに、7台の公用車の燃費ランキングを毎月掲示し、燃費のよい車から優先的に利用する意識を高めています。

また、昨年度の優良事例にならい、公用車使用簿にエコドライブ冊子を綴り、公用車のキーボックスにもエコマネ関係の掲示をする等、様々な方法により職員に周知を図っています。

上田保健福祉事務所も、車種・年度別の公用車燃費一覧等を掲示し、情報を共有することで取組意識の向上に繋げています。

木曽地方事務所環境課では、所管が複数の課にまたがる会議については、事前に他課の出席者と協議し、公用車の相乗りを検討しています。

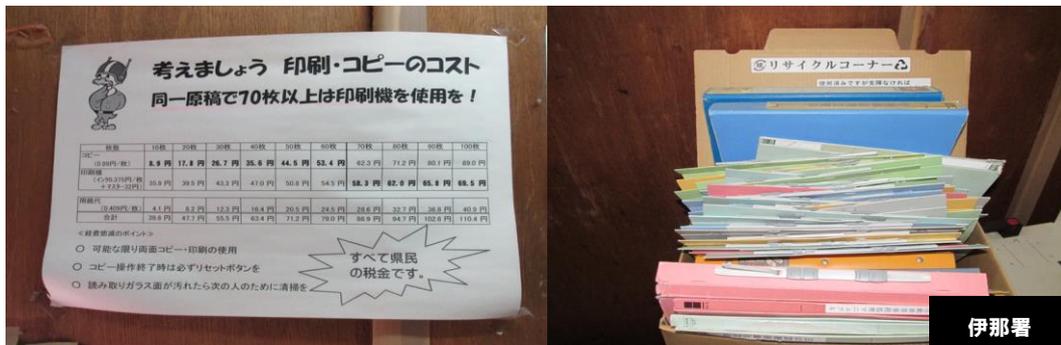
他にも、飯田家畜保健衛生所や、松川高等学校、他多くの所属でエコドライブに取り組んでいます。

## 7 紙使用量の削減

情報公開・法務課では、昨年に引き続き電子供覧、電子決裁を推進し、電子供覧 155 件、電子決裁を 41 件行い、用紙の削減、事務の効率化などの改善が図られています。(H28.2.15 現在)



諏訪保健福祉事務所では、使用済み封筒をサイズごとに保管し、再利用封筒作成の目安にしたり、使用した付箋を1カ所にまとめ再利用を促進しています。



伊那署では、コピー用紙の削減に加え、コピー機による節電、コピー室内にてフラットファイル等の再利用に取り組んでいます。



交通機動隊では、ミスプリント再利用や、コピー用紙使用総量抑制に努めています。他にも小諸署や、高速隊では、コピー枚数制限の取組や、裏紙の利用など、多くの所属で紙使用量の削減を図っています。

## 8 廃棄物排出量の削減

ごみ集積場の様子 (H28.1.22)

平成 28 年 1 月 22 日のごみ集積場のチェックを行いました。

地下ごみ集積場の状況






1 月 22 日 (金) の時間帯にごみ集積場のチェックを行いました。

H27.12.15 佐久合同庁舎エコマネ長野取組状況(その7)では、古紙回収に出された書類の裏にプラスチック系付箋がついており、外していただくようお知らせしましたが、今回はそのような書類の裏は見受けられませんでした。今後とも引き続きご協力をお願いいたします。

また、H27.12.1 佐久合同庁舎エコマネ長野取組状況(その6)において、「可燃ごみとするもの」及び「雑紙一貫」を周知させていただきましたが、今回雑紙とすることができるものが発見されました。

○お菓子の空箱  
ビニール・アルミコーティング・防水加工されたもの及び汚れているものは可燃ごみとすることができます。写真の空き箱はいずれにも当てはまらないので、雑紙となります。

○折り紙の袋  
雑紙となります。

また、今回廃封中に使用済みメモ用紙、ヨーグルトの空き容器等が混入状態で廃棄されたものがありました。雑紙(メモ用紙)・可燃ごみ(ヨーグルト容器)・プラごみor不燃(ヨーグルトの蓋)の3種類が混ざっていることとなります。

自らのデスクのごみ箱に、分別できるような複数の廃封筒を用意するなどの対応をお願いします。

「冬の信州省エネ大作戦・2015」実施中です！

1. 冬の信州省エネ大作戦・2015 実施中です。

例年、夏と冬に行われる「省エネ大作戦」ですが、本年度、夏は6月～9月、冬は12月～3月となっております。今まさに省エネ大作戦実施期間中です。(詳細については平成27年11月20日付け27環工第208号通知を参照)

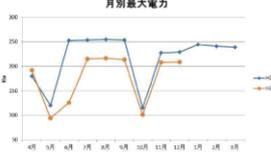
この取り組みは県機関だけでなく、企業での取組となっており、下記のとおり削減目標が設定されており、また、県機関としても削減目標が設定されています。

「冬の信州省エネ大作戦・2015」最大電力削減目標

全県目標 平成22年度比 5%減  
県機関目標 平成22年度比 9%減

ここで注意いただきたいのはここでいう削減とは、「電気使用量の削減」ではなく、「最大電力の削減」であるということです。そこで、佐久合同庁舎の電力使用状況についてお知らせします。

月別最大電力



左記グラフは各月中に記録した最大電力をグラフ化したもので、夏季の冷暖房使用時期、冬季の暖房使用時期が多く電力を必要とする時間帯があることを示しています。

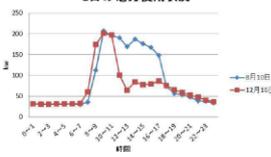
省エネ大作戦では平成22年度比9%減ですが、12月のみ比較すると平成22年度比0.7%減とやや目標に届いていない状況です。

では、最も多く電力を必要とする時間帯は、ということでグラフ化したものが左記のとおりです。平成27年度中に夏季で最も電力を必要とした8月16日と、最も直近データが存在する冬季の12月16日のそれぞれの電力使用状況です。

夏季の8月16日は冷暖房稼働のため日中を通して多くの電力を必要とし、パソコンや照明をオフにする12～13時の間に一時的に電力使用が減ることが分かっています。また、冬季は午前中の暖房のため電力を必要とし、暖房をオフにすることが多い午後は急激に下がることが分かります。

また、夏季と同様に冬季においてもお昼休みの時間帯は一時的に電力使用が減っています。不要照明のオフ、昼休み時間のパソコンのオフ等、こまめな取組でも効果がある、ということを確認していると考えます。

1日の電力使用状況



**佐久地方事務所 地域政策課**

佐久地方事務所地域政策課では、エコマネ長野に関する情報をまとめたメールを約毎月配信していますが、特にゴミの減量について、これまで分別廃棄が徹底されていなかった経過があることから、ゴミの集積場の状況を写真撮影し、分別の方法を併せて配信を行いました。

また、リサイクルが可能な「雑誌」の取扱いについては、ダストシュートに分類表を掲示するなどして周知を図りました。



北安曇農業改良普及センターでは、執務室において、ゴミの出し方をより具体的に明記して分別を行っています。

また、センターが管理している土壌診断所の中を全職員で徹底的に掃除し、不要なものは可能な限り廃棄し、空いたスペースを有効活用しています。日頃からの整理整頓は、なにかが必要なものが見極めるといっても、廃棄物排出量の削減、また、事務の効率化に繋がります。

松本地方事務所地域政策課では、水曜日の朝、合同庁舎敷地内及び周囲のゴミ拾い、除草を行い、上伊那農業高等学校では、落ち葉を堆肥にしたり畑で攪拌するなどの取組も行っています。

その他の所属でも、ゴミの分別の徹底や、廃棄物排出量の削減に励んでいます。

## 9 環境保全の取組

各所属では様々な環境保全活動が行われています。

### 「ごみ無し地蔵」設置事例

上小地方事務所 環境課



長和町「黒曜の泉」駐車場



青木村 国道 143 号 待避所



上田市「鹿教湯温泉」入口

上小地方事務所環境課では、ゴミのポイ捨て防止のための啓発運動として、「ごみ無し地蔵」（松枯れ被害木や間伐材を活用した木彫りの地蔵）を管内全市町村に設置しています。（H27 は 4 体設置）

その結果、以前よりもゴミのポイ捨てが減少したという地域住民からの声が寄せられる等、従来の啓発看板よりも効果が高いと思われます。設置個所周辺に多くの人々の目が入るようになり、ゴミを捨てにくい環境が出来上がったこともゴミの不法投棄減少に繋がっています。

また、地元の自治会長や市町村長等が出席する設置式を行うことによって、報道機関等の取材が多く入り、不法投棄減少の啓発がマスコミ媒体を通じて行われました。

また、長野建設事務所では平成11年度からの取組として、「長野マラソン、長野車いすマラソン」のコース及び沿道の清掃を大会前に実施しました。



午前中は良かったのですが…



藪の中のゴミを拾うのは大変



午後は大雨警報



空き缶、ペットボトル、家庭ゴミ、車両部品など、実に様々な物が落ちていましたが、量は昨年より減っています。

長野建設事務所